

はじまりは富山。世界初“漆サクソフォン”が奏でるTOYAMAデビューコンサート開催!!

2015年、当時富山大学に在学中の赤岩友梨江さんが卒業制作で手掛けたことがきっかけで生まれた“漆サクソフォン”(監修:富山大学)。漆で加飾されたソプラノ・アルト・テナー・バリトンの4本は「四季」というテーマのもと季節の花が描かれており、楽器の煌めきと、漆の艶が絶妙に共存しています。「富山の学生が創り上げた美しい作品をご紹介したい」そんな想いからコンサートを開催します。演奏するのは新鋭のサクソフォンカルテット「JG」。クラシックに根ざしつつもサクソフォンの可能性を広げるジャンルを超えたプログラムをご用意しました。伝統的な日本の美しさや遊び心を堪能できる傑作サクソフォン。世界に1本ずつしか存在しない、唯一の音色をお楽しみください。

プログラム

●フォスター:ドゥーダー組曲

●菅野由弘: Cat in the JG-BOX
猫はしばしば箱にもぐる IV

●日本の四季メドレー
ほか

出演:サクソフォンカルテットJG



ソプラノ:津田真人、アルト:近藤瑛美、テナー:小林正憲、バリトン:笹尾淳一によるサクソフォンカルテット。2016年に日本初、サクソフォン全てをYANAGISAWA純銀製シルバーソニックを用いてレコーディング。第10回横浜国際音楽コンクール室内楽部門第2位(管打楽器最高位)受賞。



ソプラノ[秋]

なでこの花とススキが沈金で描かれている。彫りの変化と繊細な線の重なりで、秋の気配のひそやかさを表現。沈金:上野明弘氏



アルト[夏]

夏の朝日を金梨地で、そこへ向かって伸びていく朝顔を平時絵で描いた。ネックにはあわび貝で螺鈿を施し、きらめく夏の生命感を表現。



テナー[冬]

椿の赤い花卉は乾漆粉を、花芯は金粉を使用し、高時絵で描いた。冴えた冬の空気感と椿の存在感を、鮮やかな赤と金、葉の緑で表現。



バリトン[春]

咲き誇る藤の花を薄貝螺鈿で描いた。夜光貝を用い、藤の花の華やかな色合いと優雅さを鮮やかに表現。

2018年11月2日(金) 19:00開演 18:15開場 富山能楽堂 富山市友杉1097番地
TEL.076-429-5595

チケット[全席自由・税込]:一般 2,500円、学生(大学生以下)1,500円 *未就学児のご入場はご遠慮ください / チケット発売:9月14日(金)~

プレイガイド:アスネットカウンター TEL.076-445-5511 10:00~18:00 / 月曜日定休(月曜日が祝日の場合、翌平日休み)

アスネットオンラインチケット www.aubade.or.jp アーツナビ www.arts-navi.com チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード129-321)

主催:(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山大学芸術文化学部

共催:北日本新聞社、FMとやま / 協力:柳澤管楽器株式会社 / 協賛:牛島屋

お問い合わせ:(公財)富山市民文化事業団 総務企画課

TEL.076-445-5610(平日8:30~17:15)

オーバード・ホール 検索